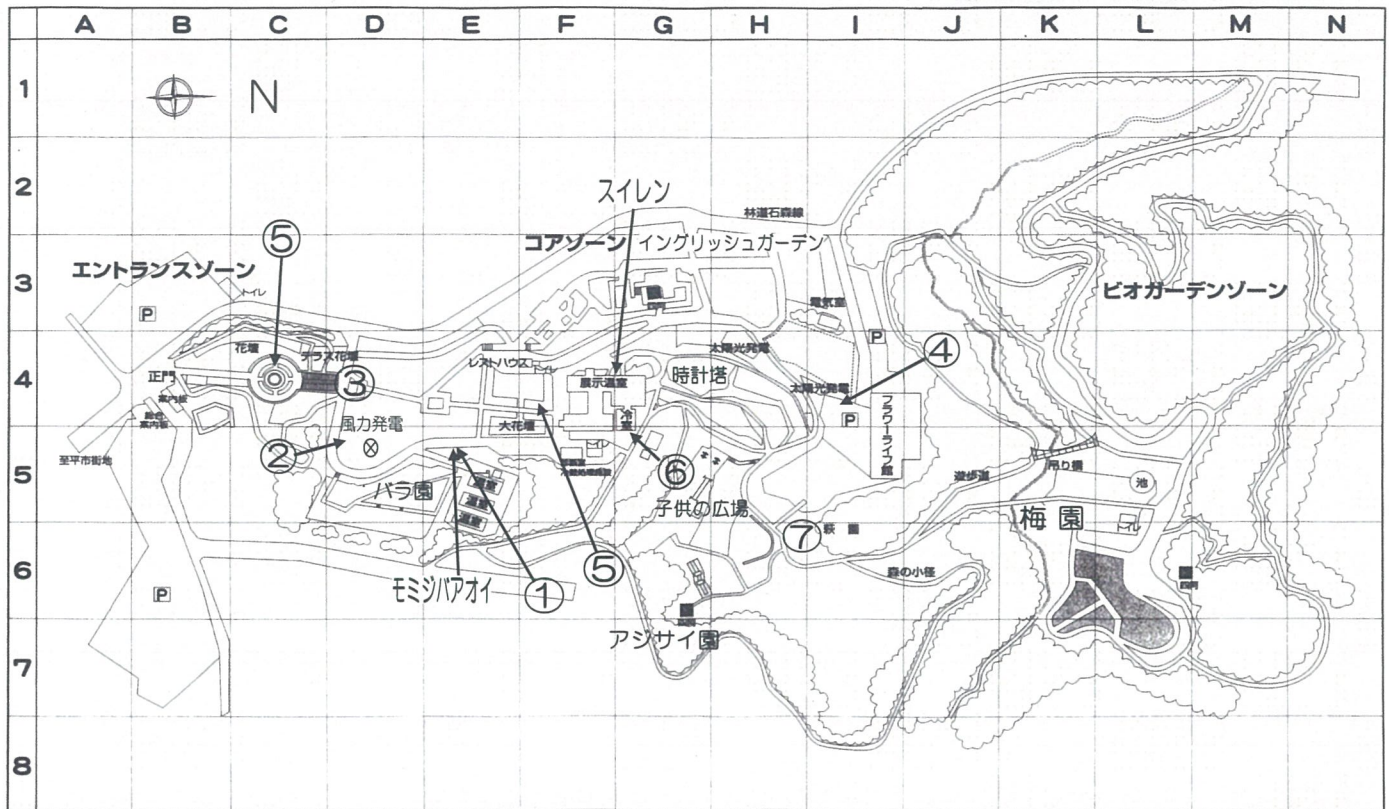


フラワーセンター【8月の花】

2021年度 8月12日更新

※園内の植物の盗難が相次いでいます 園内の植物は絶対にとらないでください。



①フヨウ (バラ園の西側通路沿い)

アオイ科 落葉低木 原産：中国中部
夏から秋にかけて最大直径15cmほどの花を咲かせます。花色は品種によって白～ピンクまで色幅（濃淡）があります。花は朝開いて夕方にはしぼむ一日花で、ひとつの花自体は短命ですが最盛期は暑さにめげず毎日新しい花を途切れなく咲かせてくれます。



②コキア (風力発電下)

ヒユ科 一年草 原産：アジア
夏になると茎に小花をびっしりと付けます。花には雄花と雌花があります。花びらはなく、淡緑色の萼があります。夏は爽やかなグリーン色の葉ですが、秋になると真っ赤に紅葉する姿が美しいです。



③ランタナ (正門から大階段を上げて正面の花壇)

クマツヅラ科 常緑低木 原産：熱帯アメリカ・アフリカ
7～11月の高温期に小さな花を多数集めて傘状に咲かせます。花の色が橙から赤というように変化していくので、「七変化」の別名があります。開花期間が長く、丈夫なので、鉢物としてよく流通するほか、花壇などにも利用されます。



④コスモスソナタ (フラワーライフ館前駐車場付近)

ソナタ系矮性種で、草丈の低いコンパクトサイズのかわいらしいコスモスです。花径約7cmの巨大輪で、ガッチリした草姿の濃赤紫、桃、白の混合色です。



⑤ペゴニア (大花壇他)

シュウカイドウ科 多年草(一年草扱い) 原産：熱帯、亜熱帯地域
多年草で中には多肉的な木質になる茎をもつ品種もあります。なかでも四季咲きペゴニアはペゴニア・センパフローレンスともいい、ブラジル原産のほぼ周年開花する品種を掛け合わせられた園芸品種群です。花色は白・ピンク・赤などがありハート形の花弁が愛らしく人気があります。



⑥マーガレットコスモス (冷室前)

キク科 多年草 原産：南アフリカ
マーガレットやユリオプスデージーに似た花を咲かせます。花が咲く時期が夏から冬に掛けてと、マーガレットやユリオプスデージーと違います。多年草で夏の暑さに強く、ある程度の耐寒性もあるので毎年花を咲かせることもできます。



⑦ミヤギノハギ (フラワーライフ館前駐車場付近)

マメ科 落葉低木 原産：日本
日本に自生するハギの種類は十数種あり、白い花をつけるシラハギ、葉が円形のマルバハギが知られています。また、仙台市の宮城野から名づけられたミヤギノハギは古来より有名です。普通のハギより上品で優雅で、紅紫色の花をつけます。

